

6 : プライマリケア医から腎臓専門医への依頼状

横浜 CKD 連携協議会精査依頼書

平成 年 月 日

紹介先 _____ 病院 _____ 紹介元クリニック名 _____
 _____ 先生ご侍史 _____ 医師氏名 _____

患者氏名	
生年月日	証・聊・穢 年 月 日(歳) (男・女)
住所	TEL

依頼理由(複数チェック可)

- CKD 確定診断 CKD 今後の治療方針 CKD 患者教育・食事指導
 検査のみ希望(検査名 _____) その他(_____)

CKD 関連検査結果(下記以外の検査データのコピーもお願い致します)

年/月/日	/ /	/ /	紹介参考基準
Cr(クレアチニン)			下記項目のどれか1つあれば、ご紹介ください
eGFR			尿蛋白2+以上のときは必ず紹介
尿蛋白			尿蛋白尿潜血共に1+以上
Hb(ヘモグロビン)			2回続けて eGFR50 未満
血圧	/	/	2回続けて Cr 男性 1.5 女性 1.2mg/dL 以上

eGFRは必須項目ではありません。紹介参考基準は、あくまで参考ですので、これより軽度でのご紹介でもかまいません。

現病歴

合併疾患 高血圧 糖尿病 脂質異常症 喫煙歴あり 狭心症・心筋梗塞
 TIA・脳梗塞 ASO 飲酒歴あり

患者の処方内容(別紙処方箋のコピーでも可)
 (_____)
 (_____)

——当院の希望——

下記の検査・治療は、当院で施行困難なため、お返事の際、ご考慮ください

<input type="checkbox"/> eGFR 算定	<input type="checkbox"/> 尿中アルブミン検査	<input type="checkbox"/> 1日蓄尿検査
<input type="checkbox"/> CKD 栄養指導	<input type="checkbox"/> エリスロポエチン皮下注	<input type="checkbox"/> 尿蛋白/尿 Cr 比
<input type="checkbox"/> その他(_____)		

当院では、当患者において、下記の CKD 病診連携を希望します

<input type="checkbox"/> 貴院精査終了後、当院で加療希望	<input type="checkbox"/> 今後、CKD については、貴院と当院で併診希望
<input type="checkbox"/> 今後、CKD については、貴院あるいは CKD 専門のかかりつけ医で加療希望	
<input type="checkbox"/> その他(_____)	

9 CKD患者を専門医に紹介するタイミング

- 健診などで、検尿とeGFRに異常があれば、速やかにかかりつけ医へ紹介する。
- かかりつけ医では検尿(蛋白尿、血尿)を行い、尿蛋白陽性では尿蛋白濃度、尿クレアチニン(Cr)濃度を測定し、尿蛋白をg/gCrで評価することが望ましい。同時に血清Cr濃度を測定し、腎機能をeGFRで評価する。
- 1)～3)のいずれかに該当するCKDは腎臓専門医に紹介し、連携して診療する(表17)。
 - 1) 高度の蛋白尿(尿蛋白/Cr比0.50g/gCr以上、または2+以上)
 - 2) 尿蛋白と血尿がともに陽性(1+以上)
 - 3) GFR50mL/分/1.73m²未満(40歳未満の若年者ではGFR60mL/分/1.73m²未満、腎機能の安定した70歳以上ではGFR40mL/分/1.73m²未満)
- CKDステージG1～G3bは、基本的にはかかりつけ医で治療を続ける。3か月で30%以上の腎機能の悪化を認めるなど進行が速い場合や、血糖および血圧コントロールが不良な場合には、腎臓専門医、高血圧専門医または糖尿病専門医に相談し、治療方針を検討する。

9 CKD患者を専門医に紹介するタイミング

表17 腎臓専門医への紹介基準

原疾患		尿蛋白区分			A1	A2	A3
糖尿病		尿アルブミン定量(mg/日) 尿アルブミン/Cr比(mg/gCr)			正常	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
					30未満	30～299	300以上
高血圧 腎炎 多発性嚢胞腎 移植腎 不明 その他		尿蛋白定量(g/日) 尿蛋白/Cr比(g/gCr)			正常	軽度蛋白尿	高度蛋白尿
					0.15未満	0.15～0.49	0.50以上
GFR区分 (mL/分/ 1.73m ²)	G1	正常または高値	≥90			*1	紹介
	G2	正常または軽度低下	60～89			*1	紹介
	G3a	軽度～中等度低下	45～59	50～59	40歳未満は紹介*2		紹介
				40～49	40～69歳も紹介*2		
	G3b	中等度～高度低下	30～44	30～39	70歳以上も紹介*2		紹介
G4	高度低下	15～29		紹介	紹介	紹介	
G5	末期腎不全	<15		紹介	紹介	紹介	

3ヶ月以内に30%以上の腎機能の悪化を認める場合は腎臓専門医へ速やかに紹介すること

*1: 血尿と蛋白尿の同時陽性の場合には紹介

*2: 尿所見正常の場合、腎臓専門医への紹介は、安定した70歳以上の患者ではeGFR40mL/分/1.73m²としてもよい。

(KDIGO CKD guideline 2012を日本人用に改変)